

本学の教育担当理事をしております奥田一雄です。本日、第6回目となる多面的評価指標開発研究会を開催するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

まずは、ご多忙にもかかわらず、学外からお越しいただいている本研究会の委員の方々にお礼を申し上げます。

それから何よりも、この3年間、本学のAP事業の取り組みの一環として開催してきました本研究会にご協力いただき、貴重なご意見をいただきました委員の皆さま方に感謝申し上げます。

本学AP事業は本年度をもって終了いたしますが、おかげさまで、本研究会の議論を通して、多面的な評価指標を用いたルーブリックにより、学生の成長を測定することについて一定の方向性が得られたのではないかと考えています。

また、学生がどのような局面や環境で能力を伸ばすのかを知ることは、学生の成長を測定・評価する上で大変重要であると考えております。

本日は豊田よしひろ義博さんからそのあたりのお話をいただけると伺っております。そして、その中で提起されたトピックをもとに、これまで行ってきた本研究会の議論を深め、ひいては本学の教育の質保証につながるができるようお願いしまして、私からのご挨拶に代えさせていただきます。

ありがとうございました。